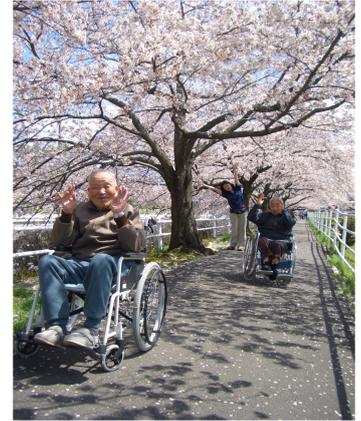


# さくら 2014 春

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 43 号  
〒420-0962  
静岡県葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 「お花見にいきました」

4月2日～7日にかけてお花見に出掛けました。城北公園、駿府公園のお堀周辺、愛宕霊園、農業高校横の川沿いと様々な所を巡りました。暖かく天気のよかった日は、愛宕霊園で車から降りて満開の桜の木の下を散歩しました。「きれいだね」「お弁当を持ってきて、ここで食べたいね」という声が皆様からありました。また記念撮影の際は、満開の桜の下でバンザイやピースサイン。笑顔も満開でした。ドライブ中の車内では以前とは変わってしまった市内の様子にびっくりする方も、懐かしい場所を見つけた時には思い出話に花が咲く方もいました。駿府公園周辺ではちょうど静岡祭りの真っ最中。祭のムードと人の多さに思わず「わー」と驚きの声が上がりました。園に帰って来た時には、「楽しかったよ」と満面の笑でした。また留守番していた職員に「今度は一緒に行こう」とお花見デートのお誘い!?をしている方もいました。



寮母 伊村好正

## 開園記念日

4月1日、麻機園は26回目の開園記念を迎えました。入所者の皆様が、さくらの広場に集まり記念日を祝いました。冒頭のインタビューでは、入所者の皆様からひと言ずつ戴きました。「初めてこんな式に出席させてもらいました。本当におめでとうございます。」と、入所されて初めての開園記念日、いつもとは違う雰囲気を感じている方、「皆さんに優しくしていただいて今年もこの日を迎えることが出来ました。また来年も皆さんでお祝いしましょう。」と涙ながらに話してくれた方もいました。毎日の積み重ねの中で、行事やこのような節目の式典は私たち職員はもちろん、入所者の皆様にとっても、思い出を語り合っ、日々を振り返ったりする事の出来る大切な機会だと改めて感じました。また、昼食会では手毬寿司や春の食材を使用した天ぷらなどの祝い膳を皆さんに堪能して戴きました。



新人職員もジュースやお酒を手に入所者のそばへ行き挨拶をしてみました。顔馴染みの方向士はもちろん、普段顔を合やすことの少ない他階の入所者同士が会話し和やかな時間を過ごしていただくことが出来ました。

今年度も様々な行事を皆様と楽しむことができたらと思っています。

寮母 山本夕加里

## デイサービス通信 ~私たちの人生これからだ~

1月から始めた「選択活動プログラム」の活動メニューをいくつかご紹介します。

- ちぎり絵** 下絵を選び、折り紙等の切れはしの束の中から絵にあう色を探し、ちぎって貼っていきます。何日も時間をかけ美味しそうな果物の絵や、きれいなチューリップの作品が出来上がりました。
- 縫い物** 「久しぶりに針を持つよ」と不安そうにしている方も、縫い始めるとあっという間に巾着ができていきます。皆さん、自分で作った巾着を入浴時の着替え入れとして使って下さっています。その他、デイサービスで使用する布巾や雑巾も作って下さっています。
- 障害物歩行** デイホールにテーブルや大小の箱、踏み台等を置き、コースを作ります。職員と共に箱を跨いだり、踏み台運動をしたり、高めの台に上り下りと、毎回違うコースを楽しまれています。

# 新人職員紹介



グループホームで2年半程介護の仕事をしてきました。24年前に静岡に引っ越して来た時、麻機園で上る花火がとてもきれいで印象的でした。ここで過されている方はとっても幸せだろうなあと考えたことを今でも覚えています。まさか私がお先、ここで働くことになろうとは思っていませんでした。私の母の介護をきっかけにここで働かせていただくことになりました。グループホームとはまた違う介護技術の取得に四苦八苦の毎日ですが、今後ともよろしくお願ひ致します。

麻機園 寮母 木村説子



4月1日より麻機園でお世話になることになりました。お年寄りの笑顔がたくさん見られるような介護士を目指して頑張りたいと思っています。これからよろしくお願ひします。

麻機園 寮母 寺尾こずえ



始めまして、4月1日からお世話になっています。多少(多々???)藁がたった新人看護師です。年齢?ご想像に任せます。施設で働くのは初めてなので毎日ドキドキしながらも新鮮な気持ちで働かせていただいています。自分の行く末を見るような諸先輩方に教を乞いながら、なかなか含蓄のあるお言葉に日々驚かされる毎日です。今後ともよろしくお願ひします。

麻機園 看護師 堤 千尋



今年3月に国立てんかん神経医療センターを退職し、4月より麻機園でお世話になることになりました。早く仕事に慣れるよう頑張りたいと思っています。

麻機園 看護師 三浦真理子

## ケアハウス「桜花」便り ~つばやき~

【今年もお花見をしました!】

寒かった冬も終わり、春の心地よく穏やかな気候の中、桜の花が今年も満開になりました。毎年恒例の「お花見」が今年はいよいよの曇り空となり、施設内に会場を移しての開催となりました。お茶やお菓子を食べながら、大勢の入居者様に参加していただき、窓の向こうの満開の桜を眺めて楽しい時間を過ごしました。そして、参加者全員で馴染みの歌を歌ってお開きとなりました。恒例となっているこの「お花見」を楽しみしている方も多く、「今年はいつやるのか?」と催促があるほどです。お花見に続き、入居者様に喜んでいただける楽しい行事を企画していきたいと思ひます。



ケアハウス桜花 寮母 麻野智子

栄養士として

麻機園 栄養士 岡本香菜

麻機園に勤めて三年目になりました。入所者の皆様に食事を楽しんでいただくために、毎月 食べる会を実施しています。食事の見た目や匂いや季節を感じ旬の食材を味わっていただくように企画しています。入所者からは「おいしいね」「寒いときにあたたかいおでんが食べられてうれしい」など感謝の言葉をたくさんいただいています。選択メニューでは、主食(ご飯やパン、麺)や主菜(肉料理、魚料理)の選択ができるように考えています。少しでも食に関心を持っていただけるように工夫していきたいと思ひます。

今年から、低栄養の予防にも力を入れていきたいと思ひます。今どき低栄養なんて、と思われがちですが、高齢になると、うまく食べられなくなったり消化機能が落ちたりして、栄養も水分も十分に摂れなくなるのが少なくないのです。若い頃より体の筋肉や水分が減ってくるため、低栄養になると気力がなくなり、免疫力・体力の低下などの症状がおきやすくなります。それらが重なってさらに食べる力が失われ、寝たきりの状態や死に至る危険も高くなります。低栄養は本人も周囲も気づきにくいものです。年2回の健康診断では、血糖値だけではなく、体重の変化やBMI(体格指数) 血清アルブミン値にも目を向け、毎日の食事摂取量を把握した上で、個人にあった食事を提供していきたいと思ひます。